

「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」の 取組状況と今後の予定について

1 趣旨・目的

2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指すため、令和3年6月に設立した「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」*の令和8年度上期の取組状況と今後の予定について報告する。

*製造及び流通等に関する企業、団体、市町等で構成

2 現状・背景

- GSHIP のワーキンググループ (①プラスチック使用量削減、②流出防止、③清掃回収、④情報発信) において、6月に第1回ワーキング会議を開催し、10月6日には会員同士の連携・協働した取組のマッチングを図る「プロジェクト提案会」を開催予定
- 参画会員数は、設立当初 (R3.6) の20社・団体から、159社・団体 (R8.9.17時点) に拡大
※参考：R8年4月以降 7会員の増加

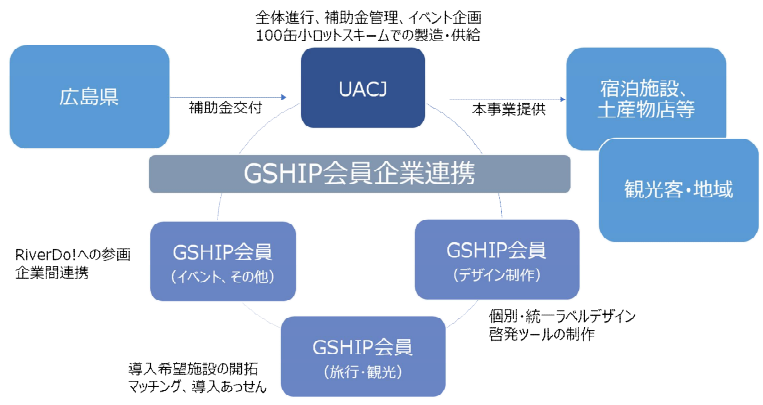
3 概要

(1) プラスチック使用量削減の取組

ア リーディングプロジェクト支援補助金

ワンウェイプラスチックの削減、プラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R (リデュース・リユース・リサイクル) 及びリニューアブルの拡大・高度化等、生活由来の海洋プラスチック対策に資する先進的な取組を推進するため、令和4年度からこれらに取り組む会員への支援としてリーディングプロジェクト支援補助金事業を実施している。令和8年度は3件を採択し、次のとおり取組を進めている。
(補助率1/2、上限3,000千円/件)

	代表事業者 連携先	内容
1	三菱ケミカル(株) 大竹市、(株)フジシール、(株)高山商会、(一社)全国清涼飲料連合会、(株)マルシン、マツダ(株)、(株)オガワエコノス等	「ペットボトルラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築」 <概要> ・これまでの実証から得られた知見を踏まえ、ペットボトルのラベルを対象に、回収から再ラベル化までをスケールアップして一気通貫で実施し、社会実装に向けた運用上の課題を把握 ・あわせてペットボトルの3分別定着に向けた啓発活動を実施 <取組状況> ・ペットボトルリサイクラーから回収したラベルの水平リサイクル実証の開始 (R8.9～) ・大竹市関連施設等における分別回収の実施 (R8.10～) ・大竹市内の小学校にて出前授業を通じた分別回収・水平リサイクルの啓発 (R8.9～) 

	代表事業者 連携先	内容
2	(株)ヤマサキ TOPPAN(株)	「日用品容器の紙代替化によるワンウェイプラスチックの削減」 <概要> ・ ボディソープ容器を紙製へ転換した令和6年度の実施計画を踏まえ、ポンプを付け替え可能な設計にすることにより、プラスチック使用量の更なる削減を推進 ・ 実店舗販売等の販路拡大を通じた県民への普及啓発を実施 <取組状況> ・ 代替容器、付け替え製品の製造 (R8.7～) ・ 通販サイト、店頭 (リーガロイヤルホテル広島、グランドプリンスホテル広島) での販売開始 (R8.7～)  
3	(株)UACJ 県内宿泊施設事業者、県内市町、GSHIP 参画会員等	「アルミボトル缶への転換による脱プラスチックの推進」 <概要> ・ オリジナルデザインのアルミボトル缶を小ロット (100 本) で提供することを可能にし、県内の主要観光地のホテルや土産店等において、環境配慮型素材であるアルミへの転換を推進 <取組状況> ・ 県内宿泊施設への導入推進 (R8.9～) ・ 県内市区町村イベント等への提供、連携 (R8.9～)  全体進行、補助金管理、イベント企画 100缶小ロットスキームでの製造・供給  <pre> graph TD A[広島県] -- "補助金交付" --> B[UACJ] B -- "本事業提供" --> C[宿泊施設、土産物店等] C --> D[観光客・地域] B --- E[GSHIP会員企業連携] E --- F[GSHIP会員
(イベント、その他)] E --- G[GSHIP会員
(デザイン制作)] E --- H[GSHIP会員
(旅行・観光)] F --- I[RiverDo!への参画
企業間連携] G --- J[個別・統一ラベルデザイン
啓発ツールの制作] H --- K[導入希望施設の開拓
マッチング、導入あわせ] </pre>

イ 社会実装化促進事業「ACTION FOR ZERO」

○ 趣旨

リーディングプロジェクトをはじめとする環境配慮の製品・サービスの更なる利用拡大（社会実装）に向け、令和7年度から宮島・宮島口をモデル地区として、飲食店及び宿泊施設を中心に、プラスチック代替製品の面的な導入を通じた消費者及び事業者の理解促進と利用機会の創出を図るとともに、認知拡大のための情報発信を行う。

今年度は、宮島・宮島口地区での取組を継続しながら、県内の他地域への拡大を目指して次期モデル地区の選定を進める。

○ 取組内容

- ・プラスチック代替製品等を集中的に展開（導入する飲食店等を支援）
- ・「ACTION FOR ZERO」の認知拡大に向けた積極的な情報発信
- ・次期モデル地区の選定のための候補地の調査、分析

○ 今後の予定

項目	内容
プラスチックの使用量削減	プラスチック代替製品への転換に参画意向を示した事業者に対して、生分解性樹脂などのプラスチック以外の素材で製造された飲料カップ、歯ブラシ、飲料ボトルに、オリジナルデザインを施して提供
プラスチックごみの流出防止	プラカップ専用分別回収ボックス及びアップサイクル品を活用した分別回収板の設置、参画予定店舗での店頭回収の実施など適切な排出行動への転換を促進
情報発信	・モデル地区内で、観光動線や参画予定の店舗を中心にポスターや卓上POP等を掲示し、地域の一体感を演出した発信を展開 ・県内外へは、SNSやウェブサイト、メディア等において、取組内容や特集情報を広く配信

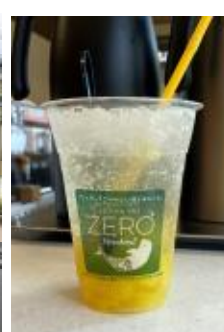
※その他、市や他団体が企画するイベントへのブース出展等、情報発信を随時展開。



取組のキービジュアル



＜アルミボトル缶＞



＜飲料カップ＞



＜歯ブラシ＞

導入する代替素材製品

(2) 流出防止の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R8.4～	広島市、広島大学	○海岸漂着物の実態把握（R8.4～R9.3） ○河川等の散乱ごみの状況把握（R8.9～R9.2） ○マイクロプラスチックの実態把握（R8.10～R9.1）
R8.9～	環境省、（一財）River Do! 川辺コンソーシアム、マツダ㈱等	○行政・企業・学生等が連携して、川祭りでの脱プラ容器の導入や清掃活動などを一体的に展開し、県民への意識啓発などを実施

(3) 清掃・回収

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R8. 3～ R9. 1	(株)フィッシュフレンズ、 瀬戸内オーシャンズX	○釣り人をターゲットとした海ごみ回収促進事業の実施（海底・海岸清掃、海ごみ写真のオンライン投稿による海ごみの種別・数量等の解析 等）
R8. 5～	GSHIP参画会員、せとうち 海援隊、公衆衛生協会等	○地域の清掃活動と参加希望者のマッチング、清掃活動情報の一覧化及びホームページ等での発信
R8. 7. 25	(一財)日本財団スポ GOMI 連盟、中国放送	○拾ったごみの質と量をポイントで競い合う「スポ GOMI」の甲子園及びワールドカップへの出場をかけた広島県大会を開催
R8. 9. 13	Golf 絆の会	○みよし市民花火まつりに際して、会場周辺の三次市 十日市親水公園において、清掃活動を実施
R8. 9. 20～ R8. 9. 21	(株)ITADAKI	○ウォーキングイベント「せとうちジャーニーウォー ク in 広島 2026」に合わせて、任意参加の歩きなが らごみ拾いを実施
R8. 9. 27 (予定)	(一社) フウド	○海岸清掃をしながら海洋ごみ問題や里海について 学び交流する「海ごみガイド付きビーチクリーン& さとうみ談義」を江田島市入鹿海岸で開催予定
R8. 10. 31 (予定)	GSHIP参画会員	○県主催で、尾道市因島大浜町において、GSHIP参画会 員等と連携した海岸清掃及び学習会を実施予定
R8. 11. 6 (予定)	GSHIP 参画会員	○県主催で、廿日市市宮島町において、GSHIP参画会 員等と連携した海岸清掃及び学習会を実施予定

(4) 情報発信等の取組

実施時期	連携企業・団体等	主な取組内容（概略）
R8. 6. 6	—	○「環境の日ひろしま大会」に、GSHIPキャラクタータ コひめの帽子工作や海ごみ学習ブースを出展
R8. 6. 4～ R8. 6. 7	(株)ニューズコム	○JR 博多駅前で開催されたイベント（瀬戸内の宴 with CRAFT BEER）において、生分解性樹脂素材で製 造された飲料カップを用いてドリンクを提供し、 ACTION FOR ZERO の取組紹介を実施
R8. 9. 13	宮島ユナイテッド FC、 廿日市市	○R8. 7 に発表した 3 者連携の取組の一環として、宮島 ユナイテッド FC のホーム公式戦において海ごみ問 題の理解促進や ACTION FOR ZERO Miyajima の取組 紹介を実施
R8. 10. 25	廿日市市、BIPROGY(株)	○はつかいち環境フェスタ 2026 において、宮島のごみ 削減と資源循環を題材にしたパネル等を展示予定
R8. 9～	(株)高山商会、(株)イズミ、 ト部産業(株)、(株)寺岡精 工、(株)ヤマサキ、(株)UACJ	○県内の小学 5 年生が授業で使用する社会科資料集の 別冊資料に海ごみ特集を企画し、GSHIP の産官学民 連携を通じ、環境問題への理解と行動促進につなげ る予定（R9. 4 発行予定）



＜環境の日ひろしま大会＞
GSHIP キャラクタータコひめの帽子
工作体験



＜宮島ユナイテッド FC、廿日市市との連携＞
海ごみ問題の理解促進や ACTION FOR ZERO
Miyajima の取組紹介



＜瀬戸内の宴 with CRAFT BEER＞
GSHIP 参画会員と連携した ACTION FOR
ZERO の取組紹介

4 予算（一部国庫）

120,956千円（海ごみ対策推進事業）

5 今後の対応

- プラスチックの使用量削減に繋がるリーディングプロジェクトの創出やプラスチックごみの流出防止、清掃活動、情報発信の取組について、引き続き、国・市町・企業等と連携しながら、事業者への積極的なフォローアップ等を行い、着実に実施していく。
- また、更なる取組の拡大に向けて、新たに開始した社会実装化促進事業（ACTION FOR ZERO）については、地元の市や関係団体等との連携の下、GSHIP参画会員と協力しながら、プラスチック代替製品の円滑な導入を進め、県内外への効果的な情報発信を通じて、事業者の取組拡大と県民の意識醸成に繋げていく。